

# 平成29年度 市の予算と事業

平成29年度に行う主要事業と予算の概要、市の財政状況についてお知らせします。

皆さんに納めていただいた税金などが、どのように使われ、まちづくりがどのように進められているか、各種会計の予算状況に沿って主な市の仕事をお知らせします。

問 財政課 財務担当 (☎358-0619)

## 目次 contents

- 2 ー平成29年度一般会計予算の中身を見てみよう！
- 3 ー普通の生活に見立てると…
- 4 ー予算を市民一人あたりにすると…
- 6 ー富谷市の主な仕事
- 12 ー市の財政状況について

将来像

## 住みたくなるまち日本一

～ 100年間ひとが増え続けるまち 村から町へ 町から市へ～

4つの基本方針の推進で目指す将来像を実現していきます

【基本方針-1】  
暮らしを自慢できるまち！

【基本方針-2】  
教育と子育て環境を誇るまち！

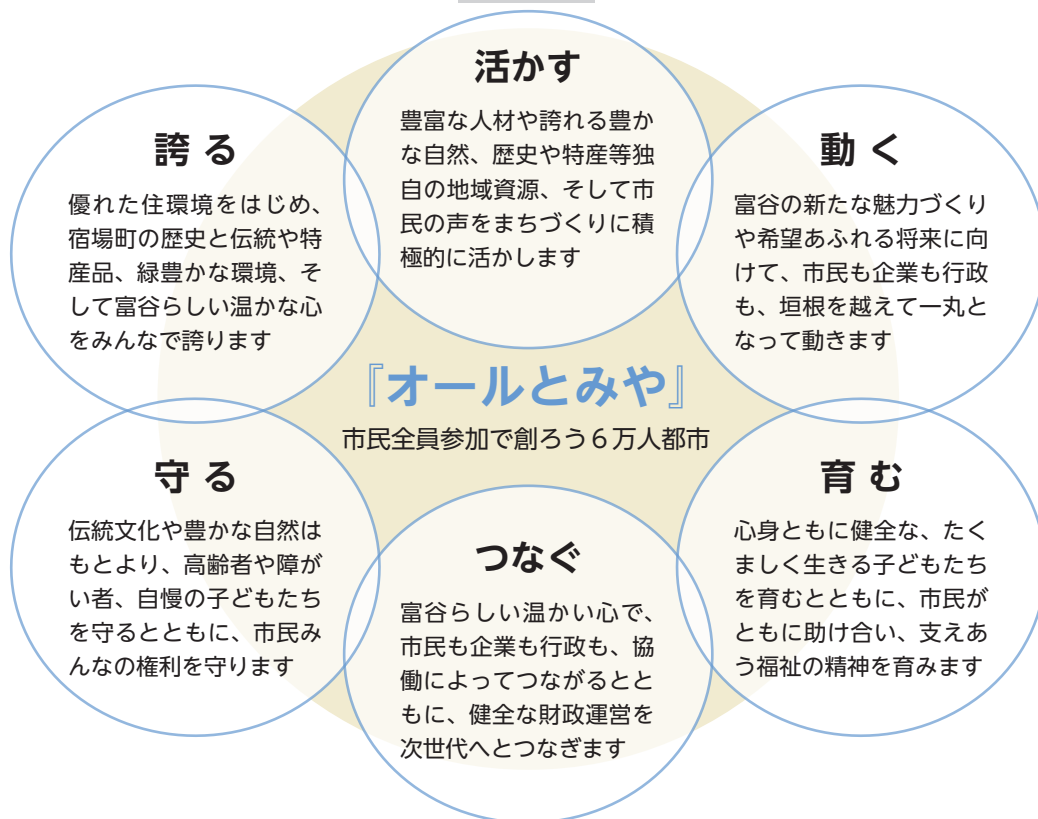
【基本方針-3】  
元気と温かい心で支えるまち！

【基本方針-4】  
市民の思いを協働でつくるまち！

6つの基本理念から4つのまちづくり基本方針を推進していきます

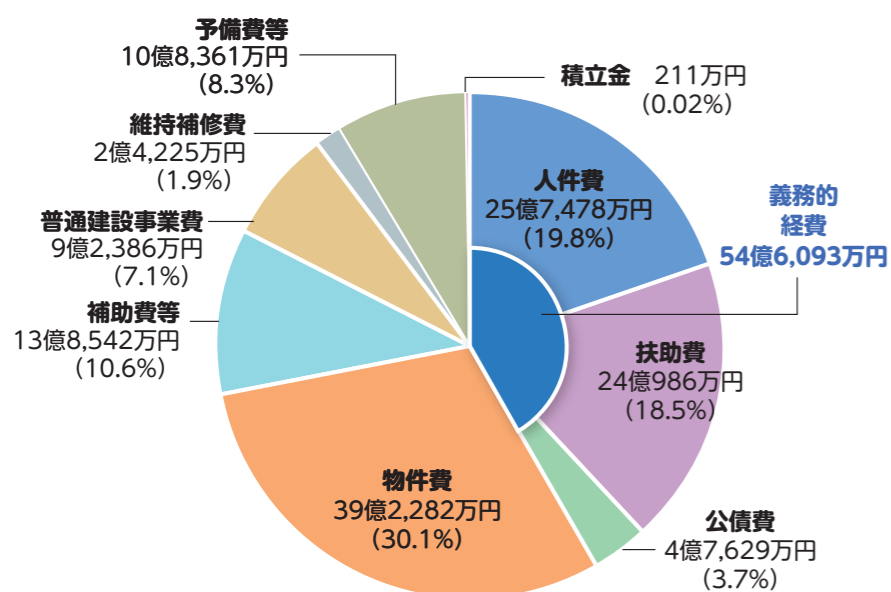
基本方針

基本理念



## 2 歳出(支出)

### このお金は何に使われるの？



#### ●義務的経費

人件費、扶助費、公債費の3つからなり、支出することが義務づけられている経費です。

#### ●物件費

賃金、旅費、交際費、需要費、役務費、備品購入費、委託料、使用料・賃借料などの経費です。

#### ●補助費等

各種団体に対する助成金や報償金、役務費などの経費です。

#### ●普通建設事業費

公共または公用施設の新增設等に要する経費です。

#### ●維持補修費

市が管理する道路や学校などの施設維持や修繕にかかわる経費です。

#### ●予備費等

予定外の支出および予算を超過した支出へ対応するための経費などです。

#### ●積立金

基金へ積立てる経費です。

## 普段の生活に見立てると…

予算を一般家庭(年間収入・支出621万6,000円\*)に見立てると

年間収入	年間支出
給料収入 <b>274万円</b> (市税)	生活費 <b>318万9,000円</b> (人件費、物件費、予備費等)
パート収入 <b>90万6,000円</b> (その他)	自宅の増築(修繕)費 <b>55万7,000円</b> (普通建設事業費、維持補修費)
銀行からの借金 <b>41万2,000円</b> (市債)	子育て費(仕送り・学費等) <b>224万2,000円</b> (扶助費、補助費等)
家族からの援助 <b>187万3,000円</b> (地方交付税、国・県支出金)	ローン返済 <b>22万7,000円</b> (公債費)
貯金取崩 <b>28万5,000円</b> (繰入金)	貯金 <b>1,000円</b> (積立金)
収入計 <b>621万6,000円</b>	支出計 <b>621万6,000円</b>

\*一般会計予算額を全国消費実態調査における宮城県の年間収入621万6,000円に合わせたもの。

平成29年度

## 一般会計予算の中身を見てみよう！

～どのような事業にどれくらいのお金が使われるのかな??～

まず初めに…

### そもそも、予算って何？

1年(4月から翌年3月)に市へどのくらいお金が入ってくるのか(収入)、また行政サービスをどのように行うか(支出)を決めたものです。

予算は市議会の審議と議決によって成立します。

### 一度決めた予算は、変えられないの？

変えられます。

補正予算といいます。国の制度改正や災害など不測の事態が起こり、予算の支出額や収入額を変更しなければならない場合などに行います。

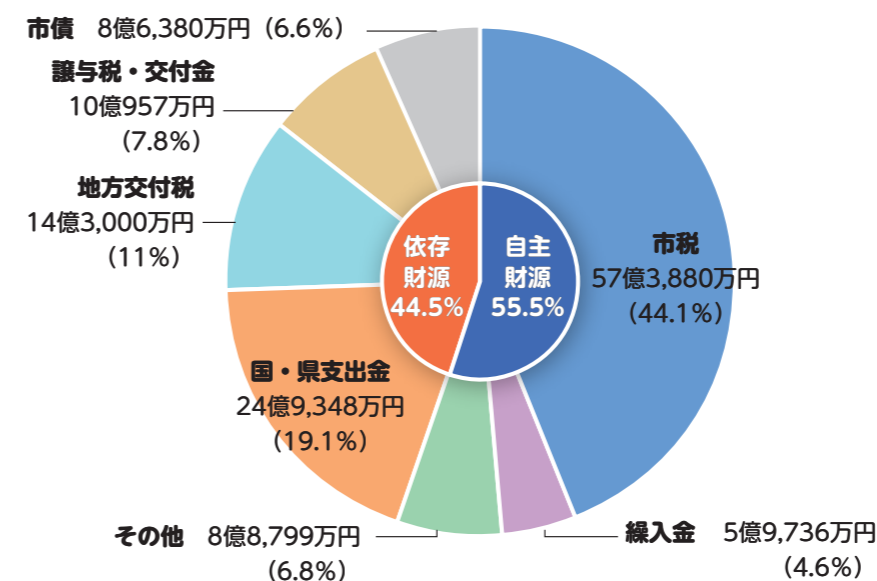
### 平成29年度一般会計予算

平成29年度当初予算は、「住みたくなるまち日本一」の着実な実現に向け、限られた財源を効率的かつ効果的に活用できるよう予算編成を行いました。2月21日開会の平成29年第1回富谷市議会定例会に上程され、予算審査特別委員会(3月10日～15日)の集中審議を経て、3月17日に原案可決されて成立しました。

**130億2,100万円** (平成28年度:129億2,600万円)

## 1 歳入(収入)

### このお金はどこからやってくるの？



#### ◎自主財源 (55.5%)

**72億2,415万円**

地方公共団体が国に依存せず自ら調達できる財源のこと。代表的なものは市税で、他に繰入金、その他(諸収入、使用料・手数料、寄附金、繰越金など)があります。地方財政の自主性と安全性を確保する上では、歳入全体に占める自主財源の割合ができるだけ高いことが望ましいとされています。

#### ◎依存財源 (44.5%)

**57億9,685万円**

国や県の決定や割り当てに基づいて収入するもの。国・県支出金のほか、譲与税、利子割交付金等の各種交付金、市債が該当します。

#### ●市税

皆さんが市に納めた税金(市民税、固定資産税、軽自動車税など)です。

#### ●地方交付税

全国どこでも同じ行政サービスが受けられるよう、国から配分されるお金です。

#### ●国・県支出金

国や県が使いみちを決めて交付するお金です。

#### ●市債

市が銀行等から借り入れるお金です。

#### ●繰入金

歳入の不足を補うために、基金(貯金)や特別会計から繰り入れたお金です。

# 4 特別会計と水道事業会計の予算

まず初めに…

## そもそも、特別会計って何？

特別会計とは、特定の歳入を充てて特定の目的の事業を行うもので、一般の歳入歳出と区分して会計処理を行う会計のことをいいます。各会計とも、厳しい財政事情のもと、健全な運営に努めていきます。

## 水道事業会計って何？

水道事業会計は、一般会計と異なり企業会計の方式によって経営しています。安全でおいしい水道水を安定供給するために、水道施設の維持管理等を行っています。

### ◎特別会計の予算

会計	当初予算額	主な内容
国民健康保険	44億7,648万円	国保医療費、特定健康診査など
介護保険	26億379万円	介護サービス給付費など
後期高齢者医療	3億661万円	後期高齢者医療広域連合への負担金など
下水道事業	8億8,489万円	公共下水道の整備など

### ◎水道事業会計

区分	当初予算額	主な内容
収益的収支	収入	11億3,985万円
	支出	11億3,473万円
資本的収支	収入	1万円
	支出	1億5,280万円

収入のほとんどは水道料金で、支出は職員給与や固定資産の減価償却費など  
支出は施設整備・拡充などの資産取得等の経費

# 5 昨年度との比較

## 昨年度の予算と比較すると…

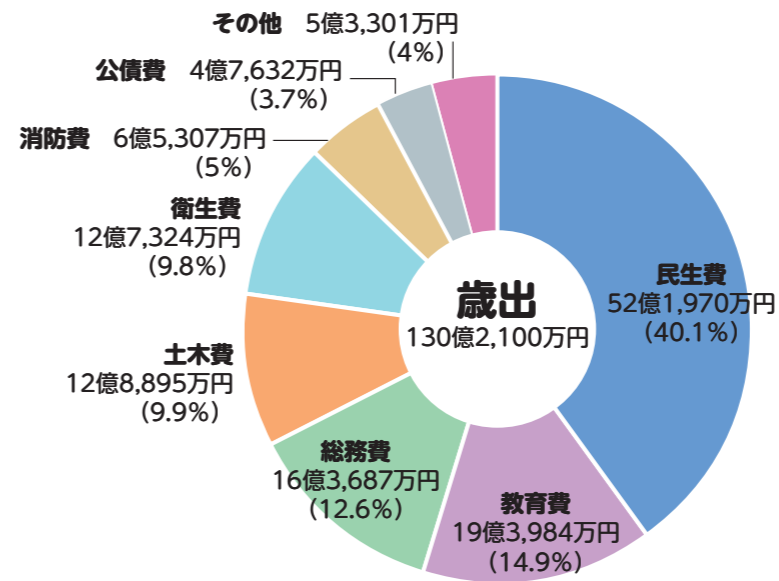
区分	平成29年度 予算額	平成28年度との比較	
		予算額	増減額
一般会計	130億2,100万円	129億2,600万円	+9,500万円
特別会計	82億7,177万円	80億1,758万円	+2億5,419万円
国民健康保険	44億7,648万円	43億1,883万円	+1億5,765万円
介護保険	26億379万円	25億64万円	+1億315万円
後期高齢者医療	3億661万円	3億1,513万円	-852万円
下水道事業	8億8,489万円	8億8,298万円	+191万円
総計	212億9,277万円	209億4,358万円	+3億4,919万円

昨年度と比較すると一般会計が対前年度比で9,500万円の増となっています。主な要因として、市制施行により生活保護費などの市として新たに行う事業費の増や、交通環境改善のための道路改良費が増となったことが挙げられます。

区分	平成29年度 予算額	平成28年度との比較	
		予算額	増減額
民生費	52億1,970万円	52億4,510万円	-2,540万円
教育費	19億3,984万円	19億261万円	+3,723万円
総務費	16億3,687万円	18億4,313万円	-2億626万円
衛生費	12億7,324万円	11億7,467万円	+9,857万円
土木費	12億8,895万円	12億810万円	+8,085万円
消防費	6億5,307万円	6億2,537万円	+2,770万円
公債費	4億7,632万円	4億9,436万円	-1,804万円
その他	5億3,301万円	4億3,266万円	+1億35万円

# 3 お金の使いみち

## 実際に何に使われているか具体的に見てみよう



- 民生費**  
児童・高齢者・障害者福祉、医療費など福祉全般の経費です。
- 教育費**  
小中学校・幼稚園の管理、生涯学習やスポーツ事業などの経費です。
- 総務費**  
防犯、交通安全、市民バスなどの経費です。
- 土木費**  
道路の管理や改良、市営住宅、公園管理などの経費です。
- 衛生費**  
健康や生活環境などの経費です。
- 消防費**  
地域の防災や消防団活動の経費です。
- 公債費**  
借りたお金やその利子を返還する経費です。
- その他**  
議会費などの経費です。

## 予算を市民一人あたりにすると…

<b>民生費</b> 子どもや高齢者、障がい者の福祉などに <b>99,370円</b> (100,298円)	<b>教育費</b> 小中学校・幼稚園など教育のために <b>36,930円</b> (36,382円)	<b>総務費</b> 防災や交通安全、市民バスの運行に <b>31,162円</b> (35,245円)
<b>衛生費</b> ごみ処理や病気の予防などに <b>24,239円</b> (22,462円)	<b>247,887円</b> (247,175円) <small>※平成29年1月1日現在の住民基本台帳人口52,528人で換算しています。 ※( )内は昨年度の金額です。</small>	
<b>土木費</b> 道路や公園などの整備に <b>24,538円</b> (23,102円)	<b>公債費</b> 借金返済に <b>9,068円</b> (9,453円)	<b>その他</b> 産業や議会関連経費などに <b>10,147円</b> (8,275円)
<b>消防費</b> 地域の防災や消防団の活動のために <b>12,433円</b> (11,958円)		

## 保健福祉部 子育て支援課

**児童手当支給事業**……………11億1,163万円  
国の制度に基づき、中学校修了前までの児童を対象に児童手当を支給します。なお、児童手当は市で一定の財源を負担します。

**子ども医療費助成事業**……………2億6,345万円  
子育て家庭の経済的負担を軽減するため、入院・通院の医療費を助成します。

**子育て支援事業**……………2,298万円  
子育て支援センターを拠点として、新生児訪問や乳幼児健診等、子育て家庭を支援します。

**子育て支援センター運営・維持管理事業**……………540万円

妊娠期から子育て期まで、切れ目のない相談支援を行うための運営・維持管理を図ります。



**感染症予防事業**……………1億4,094万円  
BCG、麻しん風しんワクチン、四種混合等の各予防接種費用を助成し、感染予防に努めます。

## 保健福祉部 健康推進課

**住民検診事業**……………1億9,102万円  
がん検診をはじめ、生活習慣病予防の健康診査、脳検診等を適正に行い、健康管理を促進します。



**感染症予防事業**……………3,475万円  
インフルエンザ対策として、原則65歳以上の方を対象に予防接種を助成します。また、感染症疾病の予防、公衆衛生の面から肺炎球菌の予防接種を実施します。

## 保健福祉部 地域福祉課

**地域活動支援センター運営事業**……………1,856万円  
地域活動支援センターの運営・維持管理費です。在宅の身体・知的・精神障がい者が、日常生活の訓練や作業、地域社会との交流を通じて、自立した日常生活や社会生活を営めるように努めます。

**障害児通所支援事業**……………1億4,321万円  
障がい児が適正な療育を受けられるように支援します。

**妊婦支援事業**……………4,738万円  
妊婦教室の開催、母子健康手帳交付時の情報提供や相談などにより、妊婦が心身とも健康に過ごせるように支援を行います。また、妊婦健診については14回分を助成します。

**保育所運営・維持管理事業**……………1億6,911万円  
市立4保育所の運営・維持管理費です。



**認可保育所運営事業**……………6億2,969万円  
認可保育所6園の運営費です。

**児童館・放課後児童クラブ整備事業**……………9,091万円  
日吉台小学校放課後児童クラブの建設整備を行います。

**放課後児童クラブ運営事業**……………1億6,172万円  
放課後児童クラブの運営費、運営を民間へ委託し、土曜開所等サービスを拡大します。

**黒川地区休日当番医事業**……………246万円  
黒川郡医師会と連携し、休日や祝日の当番医を設置します。

**後期高齢者医療制度運営事業**……………2億8,909万円  
宮城県後期高齢者医療広域連合と連携し、適切な運用を図ります。

**健康づくり、食育推進事業**……………246万円  
生活習慣病予防のための健康講座や食育推進のための教室を実施します。

**健康推進員育成事業**……………270万円  
健康づくりに必要な知識習得のため、研修会などを開催し、健康推進員を育成します。

**障害者自立支援給付事業**……………3億8,204万円  
障害者総合支援法の法定サービスで、介護給付・訓練等給付を行うことにより、障がい者の方が施設や地域で自立した生活が送れるように支援します。

**地域生活支援事業**……………2,120万円  
相談支援事業や日常生活用具給付事業、訪問入浴サービス事業などにより、障がい者が自立した生活を営めるよう支援します。

# 平成29年度に実施する 富谷市の主な仕事

平成29年度に実施する主な仕事を紹介します。

## 教育委員会 教育総務課

**市立小学校維持管理事業**……………1億580万円

**市立中学校維持管理事業**……………7,811万円

**市立幼稚園維持管理事業**……………558万円

市立小学校8校、市立中学校5校、市立幼稚園2園の光熱水費、修繕、保守点検業務等の維持管理に要する経費です。



**幼稚園就園奨励費補助事業**……………1億3,535万円

幼稚園の入園料および保育料等を助成し、子育て家庭を支援します。



**教育総務事務**……………893万円  
富谷市教育振興基本計画を新規策定するとともに、継続して教育要覧の作成などを行ないます。

## 教育委員会 学校教育課

**市立小学校運営事業**……………7,800万円  
市立小学校8校の学校運営費です。

**市立中学校運営事業**……………4,821万円  
市立中学校5校の学校運営費です。



**市立幼稚園運営事業**……………2,589万円  
市立幼稚園2園の幼稚園運営費です。

**市立小学校・中学校コンピュータ教育事業**……………1億901万円  
中学校にはタブレット型端末を導入します。

**市立小中学校図書推進事業**……………3,330万円  
心豊かでたくましく生きる子どもの育成を図るため、蔵書を充実させ、図書教育の強化を図ります。

## 教育委員会 生涯学習課

**総合運動公園運営・維持管理事業**……………7,138万円

施設全般の適正な維持管理と利用者ニーズへの対応、安全な施設運営を図ります。



**健康体力増進事業**……………733万円  
市制施行1周年を記念して、特別巡回ラジオ体操会を実施します。

**公民館運営・維持管理事業**……………9,582万円  
公民館6館の運営・維持管理、図書貸し出しの拡充を図ります。

**協働教育推進事業**……………491万円  
地域の教育力の向上や活性化を図り、地域全体で子どもを育てる環境を整備します。

## 総務部 市民協働課

- 自治振興事業** ..... 1,647万円  
地域振興を図るため、各町内会へ補助金を交付し活動を支援します。
- 町内会館整備事業** ..... 423万円  
(仮称) 穀田会館建設に伴う設計業務等

## 市民生活部 市民課

- 出張所運営事業** ..... 316万円  
市内5か所(富ヶ丘、東向陽台、あけの平、日吉台、成田)の出張所を運営し、地域の身近な窓口として、市民の利便性の向上に努めます。

## 市民生活部 生活環境課

- 一般廃棄物収集運搬処理事業** ..... 2億3,499万円  
生活ごみ等の一般廃棄物を収集・運搬し、適正に処理します。
- 一般廃棄物処理(仙台市委託分)事業** ..... 9,369万円  
生活ごみ等の一般廃棄物の処理は、仙台市へ委託しています。(仙台市と共同建設した仙台松森工場で処理されています)
- 粗大ごみ処理施設運営・維持管理事業** ..... 4,308万円  
富谷市清掃センター内の粗大ごみ処理施設の適切な維持管理に努め、粗大ごみを適正に処理します。
- リサイクル推進事業** ..... 761万円  
ビンや容器包装プラスチックなどのごみのリサイクル化を図るため、適正処分・処理を行い、循環型社会の構築に努めます。

## 経済産業部 産業観光課

- とみや国際スイーツ博覧会事業** ..... 2,761万円  
スイーツのまち=とみやブランディング展開のためのとみや国際スイーツ博覧会に係る経費です。
- 
- とみやスイーツ活性化事業** ..... 30万円  
スイーツのまち=とみやブランディング展開のための各種事業経費です。とみやスイーツ基金から充当します。

- 消費者行政推進事業** ..... 87万円  
消費生活相談員を配置し、各種消費に関する相談や苦情を受け付け、消費生活の促進を図ります。

## 市民生活部 税務課

- 固定資産税賦課事業** ..... 1,576万円  
納税者の適正な把握と効率的な評価システムの構築を図り、公平で公正な市税の課税に努めます。

- ごみ集積所整備事業** ..... 237万円  
ごみ集積所の老朽化による修繕等、維持管理に努めます。



- (仮称)「やすらぎパークとみや」整備基本計画策定業務** ..... 600万円  
公営墓地、パークゴルフ場の一体整備を念頭にした整備基本計画の策定を行います。

- 観光物産振興対策事業** ..... 246万円  
地場産品の新規創造と既存産品の生産拡大並びに販路の開拓により、産業振興を図ります。
- 企業誘致事業** ..... 571万円  
事業所の立地を促進および規模拡大の支援を行い、市の産業振興と雇用機会の拡大を図ります。
- 中小企業制度融資事業** ..... 1億1,528万円  
中小企業振興資金融資をあっせんし、1%の利子補給を行うことで、さらなる中小企業の経営安定を図ります。
- 労働雇用対策事業** ..... 1,611万円  
高齢者の就業機会拡充のため、シルバー人材センターへ補助金を交付し、運営を支援します。

## 保健福祉部 長寿福祉課

- 社会福祉協議会補助事業** ..... 3,056万円  
福祉活動を展開する富谷市社会福祉協議会を支援するため、補助金を交付します。
- 高齢者在宅生活支援事業** ..... 2,483万円  
高齢者やその家族の方が住み慣れた地域で安心して暮らせるように生活支援および介護予防・生きがい活動の支援を行います。
- 福祉健康センター管理事業** ..... 2,317万円  
指定管理制度を導入し、多様なニーズに対応できるようにサービスの向上を図ります。

## 総務部 総務課

- 職員研修事業** ..... 316万円  
新規採用職員研修や職員個々のスキルアップを図るための専門研修の積極的な受講を促します。

## 総務部 防災安全課

- 消防団員設置・運営事業** ..... 1,836万円  
消防団員の確保・訓練・育成等により、消防体制の強化を図ります。
- 
- 消防ポンプ整備事業** ..... 642万円  
災害発生時に迅速で円滑な消防団活動ができるように、今泉班へ消防ポンプ軽積載車を配備します。
- 消防施設整備事業** ..... 565万円  
今泉班の消防ポンプ格納庫を設置します。

- 保健福祉総合支援センター運営・維持管理事業** ..... 965万円  
高齢者全般の総合窓口である保健福祉総合支援センターの運営・維持管理費です。



- 情報セキュリティ対策事業** ..... 517万円  
番号制度を含めた情報の安全管理を適切に実施します。
- 人事(給与)管理事業** ..... 815万円  
職員採用および人事給与管理の適切な執行に努めます。

- 交通安全指導員設置・運営事業** ..... 296万円  
交通安全指導員の確保と交通安全知識の習得および技術の向上を図ります。



- 交通安全啓発・教育事業** ..... 165万円  
交通安全運動を実施するなど、交通安全意識の向上を図り、交通事故のない明るいまちづくりを進めます。
- 災害対策総務事務** ..... 476万円  
自主防災組織や町内会の防災活動を支援します。
- 防災用情報通信設備等維持管理事業** ..... 688万円  
防災行政無線の適正な運用と管理に努めます。
- 防災用備蓄物品等整備事業** ..... 134万円  
防災活動に必要な資機材や水・食料などの生活物資等を適正に整備管理します。

## 建設部 都市計画課

**一般公園維持管理事業**……………1億1,998万円  
公園遊具や施設の点検・修繕、除草や樹木の剪定等を行い、公園の良好な環境の維持と安全の確保を図ります。

**大亀山森林公園維持管理事業**……………2,444万円  
ちびっ子ゲレンデや公園遊具等の点検・補修等を行い、総合公園としての休養、鑑賞、散歩、運動等の基本機能の維持と安全の確保を図ります。



## 企画部 企画政策課

**市民バス運営事業**……………4,287万円  
市内公共施設を結ぶ市民バスを適切に運営します。70歳以上の方や障害をお持ちの方、65歳以上で運転免許を返納された方などへ、無料乗車証を配布しています。



**市民バス乗り継ぎ実証運行事業**……………930万円  
市民バスと路線バスの運行結節を行い、乗り継ぎ効果を実証します。

**新公共交通システム推進事業**……………817万円  
新たな交通機関を整備するため、交通量調査等準備を進めます。

## 市長公室

**広報・広聴事業**……………1,578万円  
市と市民との懸け橋である広報とみやを発行し、市の施策に関する情報等を発信します。



**住宅地地震対策事業**……………440万円  
木造住宅の耐震診断助成事業や耐震改修工事助成事業、危険ブロック塀等除却事業等により、震災対策の支援を行ないます。

**市営住宅維持管理事業**……………262万円  
建物の点検・修繕、団地内の除草等を行い、市営住宅の適正な維持管理に努めます。

## 建設部 上下水道課

**合併処理浄化槽設置事業**……………902万円  
個人が設置する合併処理浄化槽やその維持管理にかかる費用の一部を助成し、合併処理浄化槽の一層の普及促進に努めます。

## 企画部 財政課

**公有財産維持管理事業**……………9,020万円  
市役所庁舎や市が所有する土地・建物等を適正に管理します。



**財政運営事務**……………207万円  
計画的・効果的な財源配分を行い、効率的な財政運営を図ります。

**地域情報化推進事業**……………240万円  
市ホームページを適正に運営・管理します。また、ツイッターやフェイスブック等のソーシャルメディアを活用した情報発信体制のさらなる充実を目指します。



## 経済産業部 農林振興課

**農業振興事務**……………750万円  
野菜栽培農家の増加・栽培量の拡大の支援と産地直売の生産体制の充実を図り、農業に関する各種補助金等の取扱いを行います。

**ブルーベリー産地拡大事業**……………185万円  
市の特産品であるブルーベリーの消費拡大を目指し、富谷市ブルーベリー生産組合への支援と販路拡大に取組みます。

**認定農業者育成事業**……………137万円  
農業経営改善計画のもとに、農業従事者の経営安定化を図ります。

**市有林維持管理事業**……………274万円  
間伐等による市有林の維持管理を行います。

## 建設部 都市整備課

**市道維持管理事業**……………1億2,320万円  
道路の舗装補修、街路樹の剪定、道路敷の除草などを実施し、市道を適正に管理します。

**市道二・三ノ関線外8路線舗装修繕事業**……………2億2,500万円  
経年劣化が激しいあけの平12-1号線、成田西部線、熊谷前河原線の舗装修繕を行い、道路利用者の安全を確保します。



**道路交通安全施設整備事業**……………3,966万円  
交通安全施設を整備することにより、道路利用者の安全を確保します。

**側溝整備事業**……………9,000万円  
市内各地区の側溝整備を行います。平成29年度は太子堂、富ヶ丘、鷹乃杜を予定しています。

**特産品定着推進事業**……………100万円  
スイーツの食材となるブルーベリーに次ぐ新たな果樹栽培への支援を行います。



**とみや園芸直売促進事業**……………78万円  
農産物の直売や市民との交流を通じた、農業情報の受発信を活発に行い、市民生活に直結した農業振興を図ります。

**レクリエーション農園支援事業**……………43万円  
休耕田の有効活用として、レクリエーション農園（貸農園）を整備し、都市住民との交流を図ります。

## 市道穀田三ノ関線道路改良事業

……………1億6,271万円  
市役所周辺の道路環境の改善を図るため、道路整備に必要な用地を購入します。



**河川維持管理事業**……………636万円  
河川災害防止や環境保持のため、調整池のフェンス修繕や除草業務等を行い、適正な維持管理を行います。

**防犯灯維持管理事業**……………6,110万円  
既存の防犯灯の電気代や補修等メンテナンスを行います。

**防犯灯整備事業**……………3,237万円  
防犯灯の新設等を適切に行い、通学路や地域の生活道路における防犯上の安全を確保します。

**市道除融雪事業**……………8,020万円  
冬期間の市道管理として、除雪・融雪を行います。

# 市の財政状況について

市債の残高は平成29年度末で約76億9,000万円になる見込みです。(今後の財政運営により増減します。)平成29年度末市民一人あたりに換算すると約14万3,000円の借金となる見込みです。

県内の財政状況が類似している市町村の平均と比べると、平成27年度決算時点で住民一人あたりの借金は平均が約28万3,000円に対し、富谷市は12万5,000円となっています。

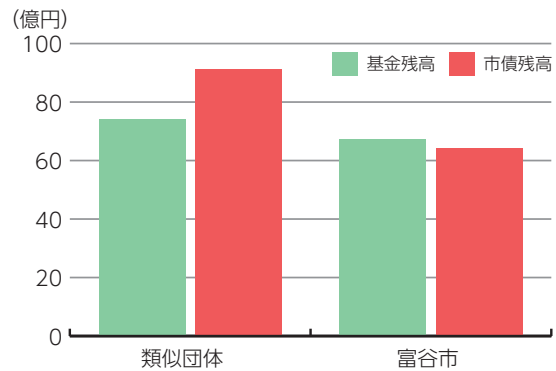
基金は、財政調整基金の取崩しはあるものの、安定的に推移しており、将来に向けた新たなまちづくりの財源やサービスの充実に充てられています。

## 市債（29年度新規借入見込額）の状況

道路整備事業債につきましては公共事業等債を、道路改良事業債につきましては一般単独事業債（地方道路等整備事業）を借り入れる予定です。臨時財政対策債（普通交付税削減の補てん）の借り入れを予定していますが、財政運営により発行額を抑制することもあります。

# 市の基金（貯金）と市債（借金）

## 類似団体との基金と市債残高の比較



充当事業	借入額
道路整備事業債	8,990万円
道路改良事業債	1億5,390万円
臨時財政対策債	6億2,000万円

## 主な基金の取崩し状況

基金名	取崩額、充当額	29年度の充当事業
財政調整基金	5億876万円	歳入歳出の過不足を調整
庁舎整備基金	1,285万円	市庁舎電話設備更新工事
ユーマイタウン施設整備基金	7,427万円	児童館・放課後児童クラブ整備事業
長寿社会福祉基金	117万円	社会福祉協議会補助事業
とみやスイーツ基金	30万円	とみやスイーツ活性化事業

# 予算が決定するまでの主な流れ

予算編成は市長が予算案を作成し、年度開始前に議会の議決を経ることになっています。市が行う事業の効率性が求められるため、各部各課における段階的な作業、精査を経て予算案を編成します。

## 平成28年

- 6月下旬～10月上旬  
サマーレビュー（当初予算編成に向けた懸案事項協議）を実施
- 10月上旬  
予算編成方針調整期間  
国政動向、経済情勢、市政課題を把握し、歳入(収入)額を見込み、必要な情報を収集。
- 10月中旬  
平成29年度予算編成方針決定・発表
- 10月下旬  
予算見積書作成  
各部各課において見積書を作成。
- 11月中旬  
予算見積書財政課提出締切
- 12月中旬  
第一次査定（財政課査定）

## 平成29年

- 1月上旬  
第二次査定（副市長・企画部長査定）  
財政課長から副市長・企画部長に第一次査定結果の提示。
- 1月中旬  
第三次査定（市長査定）3回実施  
・市長判断を要する事業や政策的事業について、ヒアリング内容の説明。基金の運用や市債残高等の総合的検討。  
・平成29年度当初予算案確定（予算書印刷）。  
・最終査定結果を各部課長へ当初予算案として通知。
- 2月下旬  
議案審議  
予算書配布。予算案審議のため、予算審査特別委員会の設置。
- 3月中旬  
予算案の議決
- 4月  
新年度予算執行開始